

健康・子育て情報

町子育て世代包括支援センター「すぎのこてらす」をご利用ください



町役場1階保健室の隣に開設している「すぎのこてらす」は、左の看板が目印です。



「すぎのこてらす」は
妊娠・出産・子育てに関する相談窓口

町では、12月1日から、町役場1階保健室の隣に町子育て世代包括支援センター「すぎのこてらす」を開設しました。

「すぎのこてらす」は、妊娠・出産・子育てに関する不安や悩みなどの相談に応じるワンストップ相談窓口です。保健・医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、妊娠期から子育て期まで切れ目なく、安心して子育てできるように保健師、助産師、管理栄養士等がお手伝いします。

- ▶対象
- ・妊娠を希望する方
 - ・妊娠中の方とその家族
 - ・子育て中の方とその家族

▶相談時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）
午前8時30分～午後5時15分

※妊娠、出産、子育てに関する様々な相談に応じます。お気軽にご相談ください。

▶愛称の選定方法

町広報8月号や町ホームページ等で募集したところ、9点の応募をいただきました。その中から、10月12日～23日の期間でもりやまこども園・大川分園、こどもの木の保護者から投票をいただき、吉田慶嗣さん（秋田市）考案の「すぎのこてらす（原案：杉の子テラス）」に決定しました。

たくさんのご参加とご協力ありがとうございました。

▶愛称の意味

五城目町の「町の木」は「杉」です。生まれた子どもたちが、杉の木のように、まっすぐにすくすくと育つことができるように、子育て世代の親たちが助産師、保健師、栄養士等の支援を得て、安心して子育てできるようにと願ってネーミングしました。「てらす（テラス）」は、子どもたちの明るい未来を「照らす」に通じ、また、子育て中の親とセンターのスタッフが「肝胆相照らす」（互いに心の底まで打ち解けて交わる。きわめて親しくつきあう）信頼関係で子育てできる姿もイメージしたものです。

お問い合わせ 町健康福祉課 ☎852・5180

遊びにおいてよ 「こどもの木」

▶利用時間 月曜日～金曜日（祝日を除く）
午前10時～正午
午後1時30分～午後3時

「わんパーク」12月の日程

- ▶12月8日(火) X'masコンサート
午前10時～午前11時
- ▶12月11日(金) ブルーメッセのクリスマス(すずむし号)
午後1時30分～午後3時
- ▶12月23日(水) 12月の誕生会・クリスマス会
保護者向けイベント「シャイニングMom」
- ▶12月22日(火) X'masアレンジメント
午前10時～（参加費500円）

※いずれも事前予約をお願いします。

お問い合わせ もりやまこども園内
こどもの木 ☎852・3805

12月 健診お知らせカレンダー

健診

3日(木) 1歳6か月児健康診査

対象 平成31年2月～令和元年5月生まれ

受付 12時45分～13時15分 場所 役場1階保健室

21日(月) 乳児健康診査

対象 令和2年2月、5月、8月生まれ

受付 12時45分～13時15分 場所 役場1階保健室

その他

8日(火)・22日(火) 母子健康手帳・子育て支援クーポン券の交付

受付 9時～15時 場所 健康福祉課

※指定日以外で交付を希望される方は、事前にご連絡ください。

お問い合わせ 町健康福祉課 ☎852・5180

52年間ありがとう！五城目小学校校舎



11月20日、五城目小学校でイルミネーションの点灯式と花火の打ち上げ行われました。

このイベントは、本年12月に学び舎としての役目を終える五城目小学校校舎への感謝の気持ちを伝えようと、五小イルミネーション実行委員会と同校PTAが企画したもので、五城目小学校6年生がイルミネーションの点灯を行った後、グラウンドで花火が打ち上げられ、冬の夜空を彩りました。

イルミネーションは、6年生から募集したデザインを基に作成されたもので、現校舎への感謝の気持ちが込められています。



グラウンドでは、花火の打ち上げが行われました。

子どもたちの一生の宝物に

今回のイルミネーションと花火は、五城目小学校校舎へのこれまでの感謝を伝えるだけでなく、新型コロナウイルス感染症の影響で様々なイベントが中止となった6年生にとって特別な日になるようにと、実行委員会とPTAの皆さんで協力しながら準備を進めてきました。

実施にあたっては、町内の方をはじめ町内事業所、さらには県外の方など、趣旨にご賛同いただいた多くの方々から募金が集まり、青森県のシンガーソングライターの佐々木泰三さんは、今回の事業のテーマソングを作成してくれました。

当日は、イルミネーションの光が灯った瞬間や花火が打ち上がった時の子どもたちの歓声を聞き、とても嬉しい気持ちになりましたし、この事業へ関わった皆さんへの感謝が込み上げてきました。約30分という短い時間でしたが、子どもたちの心に、一生の宝物となるような体験としてずっと刻んでもらえたら幸いです。（五小イルミネーション実行委員会 会長 齊藤 幸作さん）